

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成29年2月20日発行

No.121



(協本陣奥谷 撮影者:平野かほり)

穏やかな斜光に照らされて静かな年明けとなりました。
今年もまた、たくさんの方々に出会えることに感謝です。

白・黄・緑の色も鮮やかな
小正月の飾りに願いをこめて。

小笠原美雪
磯村 和美

妻籠宿保存開始50年を目前に、表彰が続きました！ 「地域発 元気づくり支援金知事表彰」 「あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞受賞」

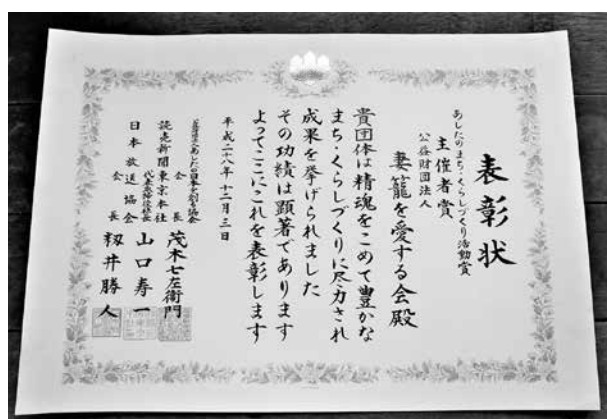
常務理事 藤原 義 則

今年度、愛する会は2か所から表彰されましたので報告します。

11月15日、木曽地方事務所において平成27年度「地域発 元気づくり支援金」事業について、長野県知事表彰に選定され、理事長がこれを受けました。対象事業は、「妻籠宿外国人おもてなし環境整備事業」であり、平成27年度に実施した、ロッカーの大型化、中央駐車場・観光案内所のトイレの洋式化及びウォシュレット化でした。愛する会は、過年度から環境整備事業で多くのおもてなし事業を継続して行っており、その評価であります。

12月3日、東京において平成28年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞」を（公財）あしたの日本を創る協会より受賞しました。当会からは、平成25年の振興奨励賞に引き続いての表彰でした。

いずれも日頃の活動の評価であり、感謝いたします。



〈あしたのまち表彰〉



〈元気づくり表彰〉

妻籠宿保存50周年記念事業について

実行委員長 藤原 義 則

妻籠宿保存事業は、昭和43年11月に保存工事を開始以来、50年目を迎えます。妻籠を愛する会では、南木曾町・南木曾町教育委員会・妻籠観光協会との共催で記念事業を開催します。このたび実行委員会を立ち上げました。

記念事業の内容につきましては、これから企画委員会と各委員会で検討を重ねながら詳細を詰め、多くの皆さんにご参加いただけるよう進めてまいります。

なお、記念式典の開催日は、平成30年2月3日（土）を予定しています。どうぞ、予定の中に組み入れてください。

第7回ガイドさんの井戸端会議開催！

2016年12月16日（金） 於：ねざめ亭

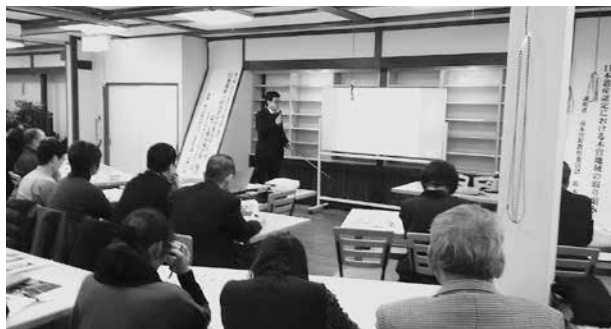
妻籠宿案内人の会 松瀬 康子

国が、平成27年度より新しく文化遺産の選定を始めました。文化庁認定、日本遺産です。国が、県が、そして町がいろいろな角度から観光資源の発掘をしています。旅する者にとっても良い道しるべとなるのは勿論のこと、観光事業者にとってもそんな有難いことはありません。ところで、日本遺産とは何なんでしょう、と、ささやかだしてから巷がざわついていました。それもそのはず、平成28年度木曽地域がその日本遺産に認定されたのです。

さて、私たち妻籠宿案内人の会は、平成15年1月より案内人の活動を始めました。先進地の視察、歴史勉強会、そして木曽広域の「ガイドさんの井戸端会議」等に参加し、学習してきました。今回7回目を数えるこの会にて、その日本遺産についてのお話を伺うことができました。まず、南木曽町教育委員会の鈴木義幸氏による、木曽地域が日本遺産に認定されるまでのお話。二年越しの申請による大変ご苦労された様子を伺い、頭が下がると同時に、日本遺産認定の意図するものの深いことに気づかせていただき、身のしまる思いが致しました。

そして、平成27年度に認定された「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」に取り組んでこられた、岐阜市教育委員会の高橋方紀氏のお話は、遡ること10年に及ぶ岐阜城発掘の調査から、戦国武将織田信長の新たな人間像の発見、人として超越したもてなしの業、そうした調査の成果をもって日本遺産認定に名乗りをあげ、みごと認定を受けたとのこと。清々しいまでの取り組みに敬服いたしました。

日本遺産とは、そこに生きる人々の心が、文化として脈々と息づき、時を越え継がれている様子が、景色に、産業に、そして生活に現れている。そうした地域を文化庁が認定する。そしてそのことがいかに観光資源として活かせるのか。それは、そこに暮らす人々の心意気、その地をいかに愛するかにかかっていると、確信致しました。



〈講演会〉



〈講演会を待つ参加者〉



〈寢覚の床散策〉



〈グループごとの意見交換会〉

【井戸端会議の内容】

1. 日本遺産における木曽地域の取組み
南木曽町教育委員会:鈴木義幸氏
2. 講演会:日本遺産「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」
講師 岐阜市教育委員会:高橋方紀氏
3. 寢覚の床散策
現地説明:臨川寺住職 見浦昭史氏
4. 情報交換会
グループごとの意見交換会
全体会でまとめ

第49回文化文政風俗絵巻之行列 2016年11月23日

南木曾町長 向井ひろあき

「今年は大出世だに。」と何人もの人が声をかけてくれる。これまで毎年、実際に子どもを乗せて運ぶ駕籠かき役をやっていたことを知ってる人達からだ。駕籠かき役から先頭を歩く宿役人役への昇格を、茶化しながらも親しみを込めた挨拶がわりの言葉だ。我ながら「本当にそうだなあ。」と思いつつ行列を歩く。それに今年は文句なしの天気だ。

行列は保存事業が始まったのを契機に、県などの関係者も呼んでスタートしたとのこと。もう49回目。今年は日本遺産に選定され、その関係者ということで県からは地方事務所長、教育委員会幹部を招待。他町村からも足助、長久手、阿智などから大勢のお客さんをお迎えしている。地域の皆さんを主体とした保存事業が成功し、今年も賑やかな行列となった中で多くの関係者が理解を示して見守ってくれていることには感謝の一言。町長としても、今後とも皆さんと手を携えて進めていく決意を新たに思う。いつの時代も目の前に課題はあるものだが、出来ることから取り組んでいきたいと思う。

行列の先頭を歩く宿役人ならばこう言うだろう。「新しい年も、ともに進んでまいろうぞ。」まさに、この気概だ。

今年もよろしくお願いいたします。



〈城山口で一休み〉



〈あともう少しで恋野です！〉

中津川市坂下 鈴木敦子

11月23日、待ちに待ったこの日がやって来ました。前日までお天気を心配しましたが、朝から良い天気で一安心。「やったあ!やっぱり私、晴れ女」と、自分を勝手に誉めて、朝早くから身支度をしながら、足袋を2枚履き、わらじを持って車に荷物を入れながら、心はもう妻籠の方へ。

私は、隣の岐阜県中津川市坂下に住んではや23年になります。神奈川から引っ越して来た頃は、木曾が珍しく、毎週のようにいろいろな宿場町を回りました。たぶん、地元の人よりよく知ってる。古い町並み、大好きです。生まれは、山口県長門市です。長州藩の真っ只中です。いなかの長門や萩の古い町並みもいいですが、中山道は味わいがありいいですね。昔、長州藩も通ったであろう道ですよ。

この行列に参加するきっかけは、7年位前ですが、一緒に働いていた看護師さんが花嫁役になるって聞き、参加させていただきました。行列で歩くと、行く先々に懐かしい顔が沢山あり、「元気ですか」とか「久しぶりです」とか…。病院で逢っていた患者さんや家族の方に逢えるのも「この行列に参加させてもらってよかった」と毎回感じます。

今年で49回、来年は50回。素晴らしいですね。ぜひ、来年も参加したいですね。今年逢えなかった方たちとも来年は逢えるといいですね。ずっと今まで引き継いでこられた地元の皆様、いつも大変なご苦労だと思います。感謝です。これからもずっと続いていきますように、皆で協力したいと思います。「また来年ね」ってあいさつをして帰るのも良いです。「来年まで、元気で!」って別れます。



〈寺下を歩く坂下ばあばの皆さん〉

尾又 吉村清花

11月23日の勤労感謝の日、妻籠へ引っ越してきて初めての「文化文政風俗絵巻之行列」に参加させていただきました。本部接待ということで、江戸時代後期の衣装を着て行列に参加はしませんでした。ふれあい館周辺で瓦版を配布したり、祝い酒を観光客の皆さんや、見学に来た方たちへ振る舞ったり、違った面で行列へ参加する事が出来ました。本部接待といっても、お弁当を並べ、お酒を並べるといった感じだったので、行列が宿場を歩いてきた時には、観客として見る事が出来ました。遠方から来た観光客の方や、毎年楽しみに来ているというカメラマンの方たち、たくさんの方たちが、「文化文政風俗絵巻之行列」を楽しみにしているんだと改めて感じました。

本番当日までの事前準備、朝早くから、参加者の方たちの着付けをしたり、お世話をしたりたくさん関係者がいるからこそ、毎年、素敵な行列ができるんだと思いました。私には多いと感じた観客たちは、毎年携わっている人たちにとっては、いつもより大分少ないとの事だったので、びっくりしました。今回、参加させていただきありがとうございました。



〈駕籠かき〉



〈百姓親子〉



〈瓦版売り〉



〈昼からも頑張らなくちゃ！〉



夜回り組について

中町 山下 航

現在、総勢19名の夜回り組が毎日交代しながら宿場内を回っています。毎晩「火の用心!」と声を上げ、拍子木の響いている音が聞こえているのではないのでしょうか。1月5日から3月2日までの間、夜回り組が回ります。

さて、私は夜回り組を始めてから思ったことなのですが、具体的にどのようなことが原因で火災が起きているのでしょうか。火災の原因を総務省消防庁のデータから見たところ、多い順に「たばこ」「放火」「放火の疑い」「たき火」「コンロ」「火遊び」「ストーブ」「火入れ」などが原因でした。「放火」や「放火の疑い」は自分たちで防ぐのは難しいかもしれません。しかし、その他の原因については、十分に用心していれば防げる可能性があるでしょう。一番火災の原因として多い「たばこ」は火は小さいですが、寝具やカーテン・衣類などに火をつけるには十分な強さを持っています。普段家でたばこを吸う分にはさほど問題はありませんが、寝たばこだけは絶対にしないようにしましょう。

このように、火災には様々な原因がありますが、その原因を知ることと事前に危険な火の取り扱い方をしていないかと普段から意識できるようになります。私も火災の原因を知ったことで、夜回りの「火の用心」という声により「火の取り扱いに気をつけましょうね!」という気持ちが込められたように思います。

みなさんで火災のおきない妻籠宿にしていきたいと思います。



〈この日はよく晴れ宿場内はすでに氷点下でした〉

文化財防火デー

広報部 原 信之

1月26日は文化財防火デーです。昭和24年1月26日に法隆寺金堂が火災に遭い、それをきっかけに文化財保護の危機を憂慮する世論が高まり、翌25年に文化財保護法が制定されました。その後、文化財保護の普及啓発事業の一環として昭和30年に「文化財防火デー」が定められ、妻籠宿でも毎年この日に防災訓練が行われています。

今年も大勢の住民が集まり、放水訓練が行われました。大切なのは初期消火です。女性や高齢者でも放水できるように、手順の確認をしました。妻籠宿は古い木造建築が連なり、燃え広がりやすい地形になっています。昔あった、妻籠宿下町地区の火災。その直後の写真を資料館で目にしたことがあります。火災の恐ろしさを物語っていました。

妻籠宿はそれ以来、大きな火災も無く、古い町並みの保存が出来ており、これはとても幸せなことだと思います。

先代から引き継いだこの町並みを、そのままの状態で子孫に渡すことが一番大切な義務のように思います。



〈放水訓練と消火栓の位置確認〉

宿 場 暦

- 11月1日：広報部会
 2日：木曽狼煙連絡会（常務）、着付練習
 5日：東京国際シンポジウム（～7日、常務）
 7日：一石栃草刈作業
 9日：衣装部会（行列衣装準備）、
 第2回木曽地域文化遺産活性化協議会
 10日：馬籠峠橋欄干修理（5名）、着付練習
 11日：中山道みなみ木曽路連絡会役員会（商工会）
 13日：平成28年度第3回観光地点パラメータ調査
 14日：行列幟旗立て
 15日：元気づくり支援金事例発表会（合庁）
 17日：行列衣装運び出し、行列第2回実行委員会
 18日：地域づくりネットワーク研修（松代・2名）
 20日：広報「妻籠宿」120号発行、フランス美しい村連合長来宿
 21日：統制委員会、行列木戸組立、
 一石栃薪割作業
 23日：第49回文化文政風俗絵巻之行列
 26日：第4回北信越ゼミ熊川宿大会
 （～27日、3名参加）
 30日：妻籠宿案内人の会世話人会・学習会、
 南木曽町リニア中央新幹線対策協議会
 12月3日：あしたの日本表彰式（東京）
 4日：日本ナショナルトラスト全国大会（東京）
 5日：衣装部会（衣装整理）
 6日：外国人観光客誘客セミナー（妻籠分館）、
 マラソン大会実行委員会（理事長）
 7日：行列反省会、観協役員会
 8日：駐車場トイレ清掃研修（第1駐車場・5名）
 9日：「木曽の観光について」提言発表会
 （木曽町役場）
 10日：衣装部会
 14日：保存50周年記念特別委員会、外来植物拡大防止パンフレット編集会議（広域・常務）
 木曽路沿道景観整備意見交換会
 （木曽風景街道）
 15日：「古道」を活用した外国人観光誘客戦略会議（合庁・常務）
 16日：ガイドさんの井戸端会議（上松・4名）
 18日：信州グローバルセミナー2016（駒ヶ根・常務）、
 しめ縄作り講習会
 19日：平成29年度「元気づくり支援金」説明会、
 馬籠峠手摺修繕（4名）
 20日：統制委員会
 22日：広報部会
 26日：一石栃立場水舟修理
 27日：50周年企画委員会
 28日：案内所仕事納
 1月 4日：新春放談会（20名）、
 狼煙揚げ（28か所・329名）

- 5日：夜回り開始（～3月2日）
 8日：中日新聞撮影（～13日）
 12日：第1回木曽路ブランドコンセプト検討会議
 13日：繭玉作り（観協女性部）
 17日：案内人の会新年会、城山松枯れ調査
 20日：統制委員会、観協役員会
 23日：第3回木曽地域文化遺産活性化協議会
 24日：50周年企画委員会
 25日：文化財を中核としたまちづくり事業
 （文化庁）、南木曽町リニア中央新幹線対策協議会
 26日：文化財防火デー、広報部会

統制委員会審議事項

- 11月21日
 ・雨樋取替・庇塗装（下町） 1件
 ・樹木伐採（関電・尾又） 1件
 12月20日
 ・災害復旧工事（町：第1駐車場） 1件
 ・第1駐車場管理棟修繕（町） 1件
 ・H28年度町道神明線道路修繕工事（町） 1件
 ・仮設現場事務所新設（土生都組・橋場） 1件
 ・電灯引込線新設（中電・旧小学校庭） 1件
 ・H28年度アンコ沢河床整備工事（町） 1件
 ・中山道沿木製看板設置修繕（町：恋野～大妻籠） 1件
 ・中山道木製手すり修繕（教委・馬籠峠） 1件
 1月20日
 ・交通規制標識の新設及び修繕
 （木曽警察署・尾又、大妻籠）（保留） 1件
 ・群状択伐（関電・妻籠地区） 4件
 ・地藏沢護岸復旧工事（町：恋野） 1件
 ・町道中山道路肩復旧工事（町：大妻籠） 1件



発行：公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

平成29年新春狼煙あげ

2017年1月4日

木祖村木曽川・水の始発駅 岩原大輔

木祖村では、藪原三角土場と味噌川ダム柳沢尾根公園に、今年はじめて菅地区を加え、全3箇所では狼煙をあげました。各会場とも大勢が参加し、賑やかに新春の空高くあがる狼煙を楽しみました。

また、新しい取り組みとして子ども達が会場で楽しめるよう「スポーツカイト」を狼煙の煙と一緒に飛行させたり、味噌川ダム管理所の協力のもと、ドローンによる空からの撮影を行いました。

主催者や関係者だけでなく、できるだけ多くの方を楽しんでもらえるよう、様々な取り組みをしていきたいと思います。



〈味噌川ダム〉

上松町実行委員会 長瀬恵敏

狼煙の準備中に木曽地方の乾燥と強風注意報が放送され、実施を躊躇したが校庭であるので火災の心配は少ないと判断し予定どおり実施した。

今回の材料は年末に校庭のドイツウヒを剪定したもので、これまでの桧や杉と違い濃厚な白い煙が湧き出した。しかし、強い風のため横になびく方が多く、なかなか上に向かって揚がらないなか、風揚げの家族やグループホームの利用者が遠巻きに見学に来て華を添えてくれた。



〈↑ 上松小学校、 ↓ 南木曽町神戸〉



大桑村本城保全整備会長 田中芳男

参加者は昨年より少し減りましたが、予定通り着火し特に問題なく行うことができました。天候もこの時期としては暖かく、この地区住民の新年会も兼ね、本年の平穏と関係者の健康・発展を祈念しながら賑やかに行うことができました。

着火後、ご来訪いただいた貴舟村長さんに乾杯の音頭をとっていただき、歓談することができました。

狼煙あげだけに終わらず、今年もこの場所を中心とした景観整備を継続することを申し合わせ散会しました。



〈本城地区のみなさん〉



〈奈良井城址〉



〈南木曽町馬籠峠と城山城址〉

⇨
木曽町日義

